

ネグレクト(neglect)

子どもを遺棄すること。健康状態を損なうほどの不適切な養育、あるいは子どもの危険について重大な不注意を犯すことをネグレクトといいます。栄養不良、極端な不潔、怠慢ないし拒否による病気の発生、学校に登校させないなどがあります。

ネグレクトは決して軽い虐待ではありません。乳幼児期では死の危険すらあります。適切な愛着関係、母子関係、信頼関係が築かれないため、将来さまざまな問題行動をひきおこし、人格形成に重大な影響を及ぼします。

保護者はさまざまな問題を抱えていることが多く、養育能力がなかったり、精神障害を抱えていたり、兄弟がいるときは、全員に影響が及びやすいことが知られています。

保護者が「ネグレクト」しています、とって外来や健診につれて来たり、相談に来たりすることはほとんどありません。もちろん子どもが自ら訴えることもありません、できません。外傷もないことが多く、誰かが気づいて通告しないと援助が始まりません。

衣食住の身体的ケアを与えない〔栄養ネグレクト・衣服ネグレクト・衛生ネグレクト〕

ご飯を食べさせてもらえないために**体重増加不良、栄養失調**になります。夏場などでは**脱水症**にも注意が必要です。着替えをさせてもらえないために体が臭う、オムツかぶれや湿疹がひどい。乳幼児健診、幼稚園・保育園、学校で気づかれます。

親の生活リズムに合わせた子どもの生活リズムの変調、家庭内の繰り返される事故もネグレクトと考えることができます。

発達に必須な情緒的ケアを与えない〔愛情剥奪症候群、情緒ネグレクト〕

発達の遅れ、低身長、低体重(やせ)となり、感情表現ができず、他人への共感と配慮を欠き、コミュニケーションが取れない、人間関係が築けないことが問題です。好奇心や学習意欲が低下し、愛情への渴望と執着がみられることがあります。身長体重は健診などを受けていれば、母子手帳の発育曲線にプロットしてみるとよく分かります。発達には**臨界期**があります。早期に発見し、適切な対処をしないと発達の遅れは**不可逆的**です。

子どもの安全を守るために必要な監視を怠る〔環境ネグレクト〕

何日間も保護者が出歩いて、**子どもが家に一人で放置されている**。車の中に子どもをおいて**パチンコに興じる**。火傷やたばこの誤飲も、繰り返されればネグレクトです。しかし、子どもが寝ているから車の中において、ちょっとスーパーで買い物、子どもが寝ているので、家においてちょっと買い物。日本では「当たり前」に行われているのではないのでしょうか。アメリカでは直ちに通報されます。「何が虐待か」社会のコンセンサスが必要です。

必要な医療や乳児健診、予防接種を受けさせない。〔保健ネグレクト・医療ネグレクト〕

外来でなにかおかしい、不自然というセンスをもつことが大切です。乳児健診の未受診者へのアプローチは地域の母子保健の大きなテーマです。

アレルギー疾患、心不全やてんかんの薬を適切に飲まない、勝手に中断する。医療機関に受診するのがいつも遅い、不必要に頻回に受診する、夜間診療しか受診していない。このような中に「虐待」が潜んでいることがあります。

基礎疾患や障害のある子どもの経過が自然歴なのかネグレクトの影響を受けているのか鑑別し、判断することは医療機関での診察のみでは不可能です。地域での社会的状況、生活状況の情報の収集が不可欠です。

必要な教育を受けさせない。保育園・幼稚園、学校に行かせない。[教育ネグレクト]

幼稚園、保育園では親の都合や、親の生活の乱れで登園できない。無断で来ない。着衣が不潔。園では「がつがつ」食べる。お迎えが来たとき、子どもの態度が変わる。

小学生にもなると、兄弟の世話をさせる、家事をさせ、登校させないこともできます。

捨子、親子心中の道ずれ 最近では保険金殺人[遺棄・殺人]

間引きは江戸時代に行われていました。親子心中は日本独特の文化背景があるといわれています。つい最近までわが国には尊属殺人という項目があり、親子心中の失敗から子どもだけが死亡しても罪に問われない一方、いかなる理由であれ、子どもが親を殺すと他人への殺人より重い罪を課せられていました。

その一方で、最近母親が我が子に保険金をかけて殺害する事件がおきました。

保護者の養育能力を評価することが必要です。

経済的問題、家庭崩壊、時に宗教的カルトなどが関与していることがあります。養育者の知的レベルが低く、援助なしには養育が不可能なこともあります。母親の精神病や精神障害もまれではありません。気付いても、精神科医療につなげることは、一般的に極めて困難です。

**ネグレクトに気づかない、察知しながら通告、介入を行わないのは、
専門職による子どものネグレクトと言われてもしかたありません**

ネグレクトに気づくために

ネグレクトされた子どもの身体的特徴

- ①体重増加不良、体重減少
- ②不衛生、不適切な衣服
- ③無気力、顔色不良、元気がない
- ④病院への受診の遅れ
- ⑤慢性疾患の放置、不完全な治療

ネグレクトを受けた子どもの精神的特徴

- ①乳幼児期の発達の遅れ(ことばの遅れ)
- ②幼児期の問題行動(集中力のなさ、多動、攻撃性、衝動性)
- ③学童期の問題(学習困難、自己評価の低さ、協調性のなさ)

ネグレクトを受けた子どもの行動面の特徴

- ①頻回のけが、事故
- ②夜間の徘徊、家出
- ③食べ物に対する問題(がつがつ食べる、盗み食い など)
- ④園、学校の遅刻の多さ、休み
- ⑤子どもに物乞い、盗み、労働、家事などをさせる
- ⑥薬物、アルコール
- ⑦多動、反社会的行動

(日本小児科学会子ども虐待問題プロジェクト、2006.4)